



目次

- 1.セルフウォークリレーとは？
- 2.目的
- 3.詳細
- 4.活動（全体）、活動（勝浦ゼミ）
5. 坂戸WALK
6. 川越WALK
7. 成果・感想

セルフウォークリレーとは？

コロナ前まではリレーフォーライフとしてイベントを開催されていた

リレーフォーライフとは、...

がんサバイバーやそのご家族を支援し、地域全体でがん向き合い、がん征圧を

目指すチャリティー活動のこと

「がん患者さんは24時間がん向き合っている」思いを共有し支援したいと

1985年にアメリカで始まった

現在、世界29か国、6,000会場で開催され、昨年、日本では北海道から沖縄まで

全国48会場に約6万人が参加した

目的

- ・地域社会にある様々な課題を自分事として捉え、多様な主体の連携によって解決に取り組んでみる
- ・学生が参加することで周囲の大人たちも新たな気づき生まれる
- ・他者との関わりあいの中で自己を発見する機会になっている

詳細

【期間】 2020年10月24日～2020年11月23日

【場所】 自由

【参加費】 1,000円

【寄付金の用途】 歩いた歩数が、ご賛同いただいた企業や個人の方からの「マッチング寄付」に変わり、集まった寄付金は「がん相談ホットライン」の運営資金に使われる
1人の相談を**40,000歩**で支援できる

【その他】 専用アプリ(スポーツタウンWALKER)のダウンロードが必要

活動（全体）

【参加者数】 2,006人

【歩数】 3億4,980万1,473歩

↓
電話相談5,414件の寄付



活動（勝浦ゼミ）

【参加者数】 43人
(1年生9人、2年生13人、3年生20人、勝浦先生)

【歩数】 726万6,575歩 ←1万歩につき1,000円の寄付

【寄付額】 72万6,000円

【ゼミ生1位】 全国2006人中**34位**、56万8,444歩、約400キロ



がん患者支援チャリティ RFLセルフウォークリ...
開催日：2020/10/24～2020/11/23
393.98km
34位

坂戸WALK

若葉駅→富士見中央近隣公園→モウモウさん家→聖天宮



坂戸WALK



→恋の池（弁天池）→
住吉神社→坂戸キリス
ト教会→勝呂神社

→坂戸歴史民俗資料館
→坂戸市市民総合運動
公園→解散

川越WALK



川越駅集合→川越八幡
宮→中院→喜多院→
成田山川越別院

→川越キリスト教会→
川越本丸御殿→市立博
物館

川越WALK



→冰川神社→元町休憩
所→蔵の街食べ歩き

→大正ロマン夢通り→
熊野神社→解散

約4時間ほど
1人あたり2~3万歩

成果・感想

- ・一つの目標に向かって同じ志を持ち、活動ができた
- ・学年を越えて一体感を感じられた
- ・コロナ禍であっても、工夫次第で社会貢献活動ができた
- ・共通のシートでだれがどのくらい歩いたか可視化できたので、モチベーションがあがった
- ・運動不足が解消できた
- ・ゼミ生たちの貢献は高く評価されている